日の出だより vol.52

第10回記念 ひので夏まつり

模擬店も多数出店します

開催日	7月26日（土）荒天中止
会場	日の出町立平井中学校校庭
スケジュール【予定】	16時45分～ 開会式 17時～ 郷土芸能(御神輿・居囃子等) 18時～ 盆踊り 20時～ 花火大会(1,700発)
交通アクセス	・JR青梅線福生駅西口バスのりば①から武蔵五日市駅行または日の出折返場行で「文化の森入口」下車 ・JR五日市線武蔵増戸駅より徒歩25分
問い合わせ	ひので夏まつり実行委員会事務局（日の出町役場企画財政課企画係）042-597-0511(内線311)

※駐車場には限りがありますので、公共交通機関でご来場をお願いします

迫力ある打ち上げ花火

みなさん、こんにちは！ひのでちゃんです。今回は、「ひので夏まつり」と「NPO法人 花咲き村」をご紹介します。自然豊かな日の出町にみなさん遊びに来てね！

日の出町イメージキャラクター「ひのでちゃん」

花咲き村 夏の山里イベント

NPO法人花咲き村では、山里の自然と遊びを体験するイベントを毎年実施しています。今年は、7月下旬に平井川源流付近での「流しそうめん大会」、8月上旬に「竹灯篭の夕べ」を予定しています。そのほか、「せっけん作り」「忍者体験」「草木染め体験」「道なき道の山道探検」「野草教室」「サバイバル教室」「田んぼ活動」などの体験活動も随時展開します。詳しくは花咲き村ホームページやフェイスブックページをご覧ください。

川の水を使って流しそうめん！

幻想的な竹灯篭のあかり

問い合わせ	NPO法人花咲き村　042-597-6242 e-mail：hanasaki@hanasakimura.or.jp （留守の際には留守番電話にお名前・ご連絡先・ご用件をお話しください）
イベント内容	内容・日程については、決定後随時ホームページ等に公開
実施場所	山里交流施設「滝本」、肝要の里など
ホームページ	http://www.hanasakimura.or.jp/
ブログ	http://blog.canpan.info/hanasakimura/
フェイスブック	https://ja-jp.facebook.com/hanasakimura

EVENT 夏休み処分場見学会 処分場を見学して「ごみのゆくえを知ろう!!」

参加者募集中！

夏休み恒例の処分場バス見学会を開催します。皆さんの出したごみがどのように処理されているのか、確かめてみませんか。

今年は、8月8日に八王子市・町田市・多摩市のごみを処理している「多摩ニュータウン環境組合」、8月22日に青梅市・福生市・羽村市・瑞穂町のごみを処理している「西多摩衛生組合」を見学し、その後、両日とも不燃ごみの埋め立てと焼却灰のリサイクル（エコセメント事業）を行っている「二ツ塚処分場」、埋め立てが終了した「谷戸沢処分場」（ともに日の出町）を見学します。

期日 8月8日（金）
- 行き先　多摩ニュータウン環境組合、二ツ塚処分場・谷戸沢処分場
- 集合・解散場所　ＪＲ八王子駅南口付近
- 時間　8時45分集合～17時解散（予定）

期日 8月22日（金）
- 行き先　西多摩衛生組合、二ツ塚処分場・谷戸沢処分場
- 集合・解散場所　立川通り曙町２交差点付近（ＪＲ立川駅北口より徒歩7分）
- 時間　9時集合～17時解散（予定）

定員 各回80人　応募者多数の場合は抽選により決定します

参加費　1人500円（昼食代）※当日お支払いください

対象
- 多摩地域在住の小学校4・5・6年生と18歳以上の保護者の2人1組
  ＊小学生1人につき保護者1人が必要です　＊小学校3年生以下の方は参加できません
- 中学生以上の多摩地域在住・在勤・在学者
  ＊なるべく2人1組でご参加ください

申し込み期間
各回とも平成26年 7月17日(木)必着

申し込み方法
往復はがき（1枚につき2人まで）の往信はがきに「見学会参加希望」と明記の上、参加を希望される方全員の
❶ 氏名（ふりがな）❷ 年齢 ❸ 性別 ❹ 住所 ❺ 電話番号 ❻ 携帯電話番号（お持ちの方）❼ 参加希望日 ❽ 通勤・通学先（多摩地域にお住まいでない方のみ）
を記入してお申し込みください。
※傷害保険に加入しますので、必ずすべての項目を記入してください

【申し込み・問い合わせ】
東京たま広域資源循環組合「見学会」係
〒190-0181　東京都西多摩郡日の出町大字大久野7642
☎042-597-6152
http://www.tama-junkankumiai.com/

EVENT 秋の谷戸沢処分場 自然観察ガイドツアー開催

今秋、恒例の谷戸沢処分場自然観察ガイドツアーの開催を予定しています。応募方法など詳しくは、9月下旬以降に循環組合ホームページに掲載する予定です。ご期待ください。

http://www.tama-junkankumiai.com/

『たまエコニュース』次回発行予定 12月号 12/7(日)

放射性物質の濃度を毎月測定しています　4月分

循環組合では、放射性物質汚染対処特別措置法、日の出町および地元自治会・同対策委員会と締結した特別協定に基づき、エコセメント化施設における放射性物質濃度の測定（月1回）と二ツ塚処分場の敷地境界における空間放射線量の測定（週1回）を行っています。4月の測定結果は表のとおりです。

エコセメント化施設

放射性セシウム濃度（セシウム134と137の合計）		
乾燥機等排ガス	不検出	Bq/m³N
焼成炉排ガス	不検出	Bq/m³N
金属回収汚泥	不検出	Bq/kg
下水道放流水	97	Bq/L
エコセメント（製品）	不検出	Bq/kg

二ツ塚処分場

単位：μSv/時

空間放射線量			
測定地点	最小値	平均	最大値
入場ゲート前	0.07	0.08	0.08
管理センター東	0.06	0.06	0.06
第1-1区画堤南側外周道路	0.07	0.07	0.07
防災調整池近傍	0.06	0.06	0.06
馬引沢峠近傍	0.06	0.06	0.06

組織団体15清掃工場

単位：Bq/kg

放射性セシウム濃度（セシウム134と137の合計）			
	最小値	平均値	最大値
主灰	17	41	81
飛灰固化物	38	290	491
飛灰	147	222	285

測定結果は毎月ホームページでも公開しています

循環組合の動き

平成26年	内容
3月26日(水)	第22自治会二ツ塚処分場対策委員会
3月27日(木)	第3自治会谷戸沢処分場監視委員会
4月1日(火)	循環組合府中事務所移転（二ツ塚処分場内へ）
4月11日(金)	環境データ公表（平成25年度第3四半期分）
5月31日(土)	処分場開設30周年記念式典

二ツ塚処分場対策委員会・谷戸沢処分場監視委員会
地元自治会の皆さまによる組織。処分場の埋立作業や環境調査等に立ち会っていただくほか、調査結果や安全対策等について、継続的に意見交換を実施しています。

東京たま広域資源循環組合
住所　〒190-0181 東京都西多摩郡日の出町大字大久野 7642
TEL 042-597-6151　FAX 042-597-7886
メールアドレス sjkumiai@tama-junkankumiai.com

ご意見などをお待ちしております
循環組合では、皆さまのご意見、内容やごみ処理に関するお考えなどをお待ちしております。
お手紙、FAX、電子メールのいずれかの方法で、「たまエコニュース係」と明記のうえ、左記あて先にお送りください。
処分場の敷地内や周辺の土壌、水質など環境調査の結果をホームページで公開しています　循環組合　検索

©2014 FUJITV KIDS

多摩400万人のごみ情報紙　地域とともに　自然とともに
発行：東京たま広域資源循環組合

たまエコニュース

2014 6月号 vol.63

目次

表紙・中面　特集 処分場開設30周年
・処分場30年の歩み
・現在の処分場は
・処分場開設30周年記念式典を行いました
裏表紙　インフォメーション
・日の出だより
・夏休み処分場見学会開催のお知らせ ほか

多摩400万人の 処分場開設30周年

日の出町の皆さまをはじめ、多摩地域の皆さまのご理解とご協力により、
昭和59年の処分場開設から、30周年の記念すべき年を迎えることができました。

処分場ができて30年！

多摩地域25市1町のごみはここで処理されているんですぞ～

処分場を実際に見学できる！
夏休み処分場見学会が開催されるよ！
詳しくはウラ面へ

30周年を迎えた 処分場をもっと知ろう！
詳しくは中面へ

東京たま広域資源循環組合
http://www.tama-junkankumiai.com/
循環組合は、多摩地域25市1町の自治体(組織団体)によって構成・運営されています。

東京たま広域資源循環組合は、二ツ塚処分場・谷戸沢処分場を管理・運営している特別地方公共団体で、日の出町の皆さまにご理解とご協力をいただきながら、多摩地域25市1町、約400万人のごみの最終処分を行っています。可燃ごみの焼却灰をセメント(エコセメント)としてリサイクルし、不燃ごみは埋め立てをしています。

組織団体　八王子市、立川市、武蔵野市、三鷹市、青梅市、府中市、昭島市、調布市、町田市、小金井市、小平市、日野市、東村山市、国分寺市、国立市、福生市、狛江市、東大和市、清瀬市、東久留米市、武蔵村山市、多摩市、稲城市、羽村市、西東京市、瑞穂町

たまエコ ニュース

■：ごみを搬入している自治体

家庭から出されるごみの最終処分は、
日の出町の皆さまのご理解とご協力のもと
行われています

多摩400万人の 処分場開設30周年

多摩地域25市1町のごみは日の出町にある最終処分場で処理されています。
今年、処分場は開設30周年を迎えました。今回は30周年を記念して、
これまでの歩みを振り返るとともに、処分場のいまをリポートします。

処分場30年の歩み

30年にわたり多摩地域のごみの最終処分を行ってきた
処分場の歴史を紹介します。

1980 処分組合設立（現：東京たま広域資源循環組合）

多摩地域のごみ問題解決を目指して

高度経済成長時代の人口増加やライフスタイルの変化（大量消費）は、ごみの排出量を急激に増大させ、ごみの質（プラスチック類のごみの増加）を変化させました。当時、多摩地域では砂利採掘跡地にごみを投棄するなどしていましたが、そこから生ずる公害が大きな問題となっていました。
そこで、最終処分場の確保に苦慮していた多摩地域27市町が「東京都三多摩地域廃棄物広域処分組合」（以下、「処分組合」）を設立しました。

1984 谷戸沢処分場開設

私たちの暮らしに欠かせないごみの最終処分場

処分組合は、日の出町に最終処分場建設の申し入れを行いました。そして、さまざまな議論や困難を克服し、日の出町の皆さまのご理解のもと、4月に「内陸型埋立のモデル的な処分場」を目指して、谷戸沢処分場が開設しました。その後、14年間にわたってごみの埋め立てを行い、1998年4月、その役割を終えました。

1998 二ツ塚処分場開設

谷戸沢処分場に続く二つ目の処分場

地域の自然環境との調和を図り、環境保全、災害対策等に万全を期することを基本方針として建設を進め、日の出町の皆さまにご協力をいただきながら、1月に二ツ塚処分場が開設しました。

2004 ビオトープの設置

自然回復事業の実施

サシバ

埋め立てが終了した谷戸沢処分場に、「草原」、「水辺」、「森林」の三つのビオトープ*を設置しました。これにより、多くの動植物が生息するようになりました。

*ビオトープ：動植物が生活できるように造成または復元された生息空間

カタクリ

2006 エコセメント事業をスタート

資源循環型社会の実現へ新たな一歩

自治体で初めての取り組みとなるエコセメント事業は、ごみ問題解決のひとつのモデルケースとして、また、資源の有効活用を推進する試みとして、7月より開始しました。さらに、組合事業がごみの埋立処分から資源循環に大きくシフトしたことから、名称を「東京たま広域資源循環組合」に変更しました。

2014 処分場開設30周年

スポーツの場として活用されています

谷戸沢処分場には、日の出町が整備した天然芝のサッカー場やグラウンドがあります。昨年の秋には、サッカー場でスポーツ祭東京2013（国体）の女子サッカー競技が行われました。現在は、多摩地域の子どもたちをはじめ多くの方々に利用されています。

現在の処分場は

資源循環や自然環境の
保全などさまざまな
取り組みを進めています。

谷戸沢処分場

キンラン

キビタキ

ムササビ
たくさんの
生き物が
いるよ！

自然再生の取り組みを行っています

1998年に埋め立てを終了しましたが、その後も周辺環境に影響を与えないよう、適切に維持管理を続けています。現在は、生態系を豊かにする自然再生の取り組みとして、広葉樹やススキ野原の保全とホタルやトンボが生息する水域の保全などを行っています。
こういった取り組みの結果、約80種の野鳥や約800種の昆虫、約500種の植物が場内で確認されるようになりました。日の出町の天然記念物であるトウキョウサンショウウオやモリアオガエル、絶滅が心配されているカヤネズミやオオタカ、オオムラサキやヘイケボタルといった貴重な生き物も生息するなど、自然の回復が順調に進んでいます。

エコセメント事業

焼却灰を
再生利用！

**多摩地域や東京23区内の
いろいろな場所で使用されています**

可燃ごみの焼却灰をリサイクルして作るエコセメントは、資源循環と埋立量の削減に大きく貢献しています。この事業により、二ツ塚処分場の使用期間を当初予定の16年間から30年間以上に大幅に延長することができました。
エコセメント製品は、道路の縁石や側溝、歩道の舗装ブロックなどのコンクリート二次製品に加工され、多摩地域はもちろんのこと、東京23区内の公共工事などでも広く利用されています。

東京駅丸の内口
駅前広場

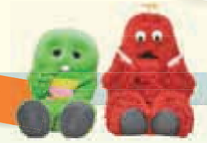
内閣総理大臣官邸前

二ツ塚処分場

**不燃ごみの埋め立てを
安全に行っています**

エコセメント化施設の稼働により、現在は不燃ごみだけを埋め立てています。
不燃ごみの搬入時には、乾電池などの不適物が含まれていないか地元の方々の立ち会いのもと厳しく監視を行っています。さらに、ごみが風で飛散しないように強風時にはごみの搬入を停止したり、ごみが搬入されたらその日のうちに土をかぶせるなど、埋立作業は万全の注意を払って行っています。こういった対策は、地元との協定等に基づいて行っているもので、周辺環境を保全するために徹底した安全対策がとられています。

TOPICS



処分場開設30周年記念式典を行いました

5月31日、日の出町谷戸沢処分場にて、処分場開設30周年を祝して記念式典が行われました。当日は、地元自治会をはじめとした日の出町の皆さま、東京都や地元選出の議員の皆さまなど約100名にご列席いただき、盛大な式となりました。

長友管理者による式典挨拶

かたい握手を交わす
橋本日の出町長（左）と長友管理者（右）

長友管理者（調布市長）は挨拶の中で、処分場30年の歴史を振り返り、多摩地域住民400万人を代表して、日の出町の皆さまの多大なご理解とご協力に感謝を述べるとともに、引き続き安全、安心な処分場運営に努めることを約束しました。

レセプションでは、地元自治会をはじめとした
日の出町の皆さまによる踊りと大正琴が披露されました

次の30年へ向けて

エコセメント事業によるごみ焼却灰のリサイクル、そして、皆さん一人ひとりによるごみ減量の取り組みが成果をあげ、おかげさまで二ツ塚処分場の埋立量は減少しています。循環組合では、今後も安全な管理運営を徹底しながら多摩地域の循環型社会の実現に貢献していきます。

これからもごみの減量にご協力ください